

## 「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第2回琴浦自分ごと化会議で、参加者が記載した「改善提案シート」の内容を次のとおり分類した。

## 1 参加者からの改善提案概要

## (1) 移動手段

課 題		買い物や通院など生活に関わる移動が困難になっている
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康管理を行い、通院回数を減らす。病気にならない体づくりを行う</li> <li>・ 店舗を活用する</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車の停止位置を確保する</li> <li>・ 移動販売、共同販売などを行う</li> <li>・ 医療面として、往診や薬局での郵送受取システムなどを確保する</li> </ul>
	行政の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送迎を行う病院・医院へ補助を行う</li> <li>・ 看護師、保健師等を定期的に各部落に行ってもらい、保健管理の補助やアドバイスを行う</li> <li>・ 業者へ補助する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

課 題		地域内の移動のニーズ（実情）を把握できていない
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議に出るなど共助交通について考える</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全家庭で5～10年後の公共交通の必要性（重要度）についてアンケートをとる</li> <li>・ 年代別の声を聞く</li> </ul>
	行政の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民個々にアンケートを取る</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

## (2) 地域で移動を支え合う仕組み

課 題		共助交通の体制が十分でない
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転手や管理者として参加する</li> <li>・ しゅみづくりや運転手確保に協力する</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転手募集に協力する</li> <li>・ 地域で繋がりを持ち、声掛けをする</li> <li>・ 各区（地域）で助け合う</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しくみや組織を作り上げる</li> <li>・ 適正な運賃設定と運転者確保を行う（報酬等）</li> <li>・ 地域自治会や地区公民館との対話など地道な努力を行う</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進のためのレクチャーを行う</li> <li>・ ボランティアが持続できるような、モチベーションが下がらないような仕組みづくりを行う（ボランティアに対してのポイント制など）</li> <li>・ システムを構築する</li> <li>・ 各地区に協力依頼を行う</li> <li>・ 地域へ助言する</li> <li>・ 委託費又は補助金・助成金を支給する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用する側にもマナー研修を行う</li> <li>・ システムを発展させるためには、共助交通は大変大切な点で、確立するために汗を流す努力が必要</li> </ul>

	課 題	独居老人や高齢者世帯の見守りができていない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時々訪問し、お困りごとを聞いたり手伝う</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆で見守る</li> <li>・ 手伝えることは手助けする</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政として訪問する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助交通の広がりを含めて、人と人がつながるとよい</li> </ul>

	課 題	地域内の結びつきがなくなりつつある
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落内で、高齢者に交通支援制度の再確認を行う</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落内のまとめ役の方に、支援制度を周知する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助交通の広がりを含めて、人と人がつながるとよい</li> </ul>

### (3) 公共交通

	課 題	公共交通が利用されていない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるだけ公共交通を使用する。</li> <li>・ バスをなるべく利用する</li> </ul>

	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの人に乗ってもらうよう声掛けする</li> <li>・ みんなに利用するよう勧める</li> <li>・ バスをなるべく利用する</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利便性の良い時間割を作る</li> <li>・ 利用者のために、公共交通を維持する</li> <li>・ バス利用の方が軽費的に安いというPRチラシ等を作成し、保護者へ配布する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が乗らないからと言って、公共交通は無くしてほしくない。</li> <li>・ 利用者が増えると、町の負担金が増えるのなら、利用者が少ないほうが良いのでしょうか。”</li> <li>・ 非常に困難な事業</li> </ul>

課 題		公共交通を維持するコストが高い
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少し運賃が上がっても我慢する</li> <li>・ 意見を言う</li> <li>・ 遠距離から通学する子どもを安全に確保することを協議して考える</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの人に乗ってもらうよう声掛けする</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス、タクシー利用の促進や宣伝を行う</li> <li>・ 競争入札（公募）して、業者選定する。（町内限定しなくてよい）</li> <li>・ 財政的には負担であるが、安全に子どもが通学できる方法を考える</li> <li>・ 3kmの見直しもしくは3～5kmなどの範囲で講習を受け合格できた生徒に対しては、自転車通学を許可する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報開示すべき。</li> <li>・ 環境税とか森林保全税みたいな新たな税負担も必要（増税感はあるが）又は消費税の使い道にも言及したらどうか</li> </ul>

課 題		公共交通の担い手（ドライバー等）が不足している
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助交通に乗って参加できる機会があれば参加する</li> <li>・ 声掛けを行う</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助交通に対する支援を行う</li> <li>・ 声掛けを行う</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転者への報酬を増やす。</li> <li>・ ドライバーの確保（免許取得への援助）による、雇用</li> </ul>

		確保
	その他	・ 共助交通の導入で全てが解決するとは思いませんが、導入拡大してほしい

(4) 情報発信

	課 題	交通支援制度の周知が不足している
改善提案	個人の実組	・
	地域の実組	・ 集落内で、交通に対する支援制度を周知する
	行政の実組	・ バス路線のマップを作成する
	その他	・